

科目名	キャリア開発入門	
担当者	志賀 玲子 / SHIGA, Reiko	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している	
科目概要	授業内容	本科目は、【志学館大学におけるキャリア教育の入門・基礎編】である。キャリア開発とは何か、キャリアデザインとは何かを理解しながら、自立・自律に向けて自己と社会とのバランス感覚を磨く。そのために、ワークブックを用いて、講義と実践的な作業を取り混ぜて進めていく。
	到達目標	①キャリア開発の基礎知識を身に付け、情報を知る。 ②自己について理解を深める。 ③行動力を発揮し、学んだことを大学生生活・社会生活において活用する。
授業計画	(1) キャリア開発のコツは ーオリエンテーション (2) 「就職」とは何かー学生から職業人へ (3) 私たちを取り巻く雇用・労働環境と社会が求める人材像 (4) 教養・一般常識はありますか (5) キャリアマップとポートフォリオを活用しよう (6) 自分を表現して分析しよう① (7) 自分を表現して分析しよう② (8) 自分を表現して分析しよう③ (9) 業界・職種・企業研究入門 (10) キャリア開発の諸理論 (11) 職場におけるキャリア開発 (12) コミュニケーションの技法 (13) グループ・ディスカッションの効果 (14) 志学館大学におけるアイデンティティ形成ー創設者満田ユイ先生にみる究極のキャリア開発術 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・ワークブックを読み返し、書き足してさらに作業を進めていくこと。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は特に指定しない。プリントとワークブックを配布する。 【参】 適宜、紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 積極的に授業に参加し、課題・レポートに適切に表現できたときに合格とする。 <方法> 参加態度50%、課題・レポート50%。	
備考	レポート課題の一部に読書課題を含む。	

科目名	キャリア概論	
担当者	志賀 玲子 / SHIGA, Reiko	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している	
科目概要	授業内容	今後の進路を探索・選択し、生涯を通じた就業力を身に付けるために、講義や外部講師による進路講演会等によって勤労観・人生観を明確化する。また、様々な学習形式を取り入れ、「自己」に対して多角的にアプローチしていく。
	到達目標	①進路探索・キャリアデザインに関する知識・技能を習得する。 ②自分の将来について考え、勤労観・人生観を高め、感想文として表現する。 ③一般常識の有無を自覚して自学自習し、テストで8割以上の点数を取る。
授業計画	(1) オリエンテーション／「今」からやるべきこと (2) 進路選択のための基礎知識 (3) 自分史とこれからの大学生活 (4) 進路講演会（外部講師） (5) アクティブラーニング（能動的学習）のススメ (6) 進路講演会（外部講師） (7) SPI試験の概要と対策 (8) キャリア開発の理論と実践 (9) 進路講演会（外部講師） (10) 社会分析 (11) 自己分析 (12) 進路講演会（外部講師） (13) 卒業生のキャリア開発 (14) 一般常識テスト (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の内容をふまえて自己の大学生活プランを見直すこと。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。 【参】 適宜、紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 毎回積極的に授業に参加し、講演等や読書課題について考察し的確にコメントに表現し、それらによって自学自習のモチベーションを保つことで一般常識テストの高得点をめざし努力した場合に合格とする。 <方法> 進路講演等に対するコメントシート（40%）、出席態度（50%）、一般常識テスト（10%）。	
備考	企業への就職に限らず、すべての進路に関わる内容なので、多くの2年生が履修することを期待する。なお、授業の順番は変わることがある。 『読書』課題は、課題の一部として取り入れ、出席態度に加味する。詳細は、初回の授業で説明する。	

科目名	キャリアデザイン	
担当者	志賀 玲子 / SHIGA, Reiko      野上 真 / NOGAMI, Makoto	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している	
科目概要	授業内容	「キャリア概論」を実践面で発展させた内容である。コミュニケーション力を磨くために、ワークシート、ゲーム等を活用し、頭の中を整理したうえで、グループ・ディスカッションに取り組み、人生・社会・仕事について自分の考えを明確にする。3・4年生や外部講師等の講演によって就業観も磨く。そして、自己分析・自己理解を深め、キャリアデザインを進める。
	到達目標	①自己分析を進めて言語化することで、自己形成にとって経験がいかに重要であるかを知る。 ②講義や講演から動機づけを得て、希望する職業や職場の研究を積極的に進め、各自必要な対策を練り、キャリアデザインに取り組む。 ③SPIテストで8割以上の点数を取る。
授業計画	(1) オリエンテーション (2) インターンシップ報告会 (3) 自己分析① (4) 業界研究① (5) 自己分析② (6) 業界研究② (7) 自己分析③ (8) 業界研究③ (9) 内定者報告会 (10) 社会人の心構えとビジネスマナーの基礎 (11) グループディスカッション① (12) グループディスカッション② (13) グループディスカッション③ (14) グループディスカッション④ (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	新聞等で時事情報に常に接しておくこと。
	事後学習	授業内容を踏まえて、自己のキャリアデザインをもとに、具体的にアクションを起こしていくこと。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。 【参】 適宜、紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 授業に積極的に参加し、特にディスカッションの際には苦手意識がある人もその人なりに努力する姿勢を見せた時に高く評価する。また、自己のキャリアデザインを進めて、実生活でも実践できるようにレポートに的確に表現し、SPI高得点を目標として自学自習に取り組んだ場合に合格とする。 <方法> 出席態度・コメント（60%）、レポート（25%）、SPIテスト（15%）。	
備考	自己分析・自己理解とコミュニケーション力・発信力は、企業への就職に限らずすべての進路に関わるので、2年生の履修を期待する。なお、外部講師の関係で、授業の順番は変わることがある。『読書』課題については、レポートのテーマの一部に取り入れる。詳細は、初回の授業で説明する。	

科目名	キャリア開発演習 I	
担当者	◎志賀 玲子 / 野上 真 / 末吉 剛士	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 前期 / 講義・演習 / 2単位 / 2年次	
	株式会社マチトビラとの連携事業	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している	
科目概要	授業内容	キャリア開発のための技能やツールに焦点を当てて実践し、地域社会において有為な人材として活躍するための知識・感覚を磨く演習を行う。インターンシップ事業を実施する企業と連携し、座学だけではなくディスカッションやグループワーク、インタビュー、プロジェクトを取り入れ、楽しくわかりやすく進める。そして、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組む姿勢や、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力、勤労観・職業観を身に付け、社会人・職業人として自立するための素地を作る。
	到達目標	①視点を増やす (長期的視点、社会的視点、公益の視点など)。 ②論理的に考えることができる。 ③自分の考えをわかりやすく伝える。 ④高い意欲で自ら「気づき」を生み出せる。
授業計画	(1) オリエンテーション ガイダンスとワークショップ体験 (2) 社会人基礎力① 活躍するために必要なツール (3) 社会人基礎力② チームビルディング (4) 社会人基礎力③ コミュニケーション (5) キャリアデザイン① (導入・自己分析) マッピングメモ (6) キャリア事例 先輩の話进行こう (7) キャリアデザイン② (自己分析) 図書館めぐりから考える自己分析 (8) キャリアデザイン③ (自己分析) 自分エンジンを探そう (9) キャリアデザイン④ (自己分析) 社会人へのインタビューワーク (10) プロジェクト① 課題の解決に向かって全5回を使いアイデアを考え実施する (11) プロジェクト② 同 (12) プロジェクト③ 同 (13) プロジェクト④ 同 (14) プロジェクト⑤ 同 (15) キャリアデザイン (まとめ) ワールドカフェと大質問大会	
自学自習	事前学習	・新聞等によって社会情報を収集しておくこと。
	事後学習	・配布された資料や紹介された情報を確認して考察すること ・授業で学んだことを大学生活において積極的に実践し、また次の授業で周囲にフィードバックすること。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリント (ハンドアウト) を用いる。 【参】 必要に応じて紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 個人や集団の様々なワークに積極的に参加し、レポート課題で自己の生き方について考察し的確に表現できた場合に合格とする。 <方法> 授業参加態度 (80%)、レポート (20%)。	
備考	・就職活動時期や卒業前になって「やっておけばよかった」と思える内容なので、多くの積極的な受講を期待する。【初心者でも楽しく学べる】内容である。 ・「キャリア開発演習Ⅱ」と連動する内容や提携企業であり、併せて履修すると学習効果が一段と高まるため、両方の履修をおすすめする。(義務ではない。) ・読書レポートの内容を成績評価の対象とする。	

科目名	キャリア開発演習Ⅱ	
担当者	◎志賀 玲子 / 野上 真 / 末吉 剛士	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 前期 / 実習・演習 / 2単位 / 2年次	
	株式会社マチトビラとの連携事業	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している	
科目概要	授業内容	PBL(課題解決学習)として、「地域協働型インターンシップ」(徹底した研修でキャリア開発の技法を習得し、他大学学生とも仲間づくりをしながら、地域課題を扱う企業・NPO・団体等において実践的な就業体験を行うこと)または発信力を高める「フィールドワーク」(実地調査)に参加する。仲介企業と連携して実社会に触れることで人の繋がりも広げ、「社会の中での自己」の理解に目覚め、逆に大学での学問に対する学習意欲を向上させる。
	到達目標	①リスクマネジメントをしたうえで就業体験もしくは実地調査・情報発信をする。 ②地域での実習を通して実社会に触れる。 ③勤労観・職業観を明確にする。 ④主体性・実行力を養う。 ⑤柔軟性・規律性を学ぶ。 ⑥実習後の振り返りにより、今後の行動を再計画する。
授業計画	(1) オリエンテーション (2) 事前研修(コンプライアンス、情報リテラシー、目標設定) (3) 各受け入れ先企業・NPO・団体等にて就業体験実習または調査実習 (4) 同 (5) 同 (6) 同 (7) 同 (8) 同 (9) 中間研修(状況確認、課題把握、改善策のアクションプラン策定、フォローアップ) (10) 各受け入れ先企業・NPO・団体等にて就業体験実習または調査実習 (11) 同 (12) 同 (13) 同 (14) 事後研修(目標に対する振り返り、大学生活への活かし方) (15) 事後報告会、総まとめ	
自学自習	事前学習	・新聞等によって社会情報を収集しておくこと。 ・実習や研修で学んだことを次の日程までに再確認しておくこと。
	事後学習	・実習や研修で学んだことや気づきを言語化し、日報を作成すること。
使用教材・参考文献	【教】 最初の授業で紹介する。 【参】 必要に応じて紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 実習・研修に積極的に参加し、プレゼンテーションで的確に自分の学びや気づきを伝えられた場合に合格とする。 <方法> 実習・研修中の参加態度(70%)、プレゼンテーション(30%)。	
備考	・できるだけ「キャリア開発演習Ⅰ」と併せて履修することを期待する。 ・実践型の貴重な修行体験であり、抜群の成長を約束できる濃密な内容である。 ・読書課題については、詳細を初回に説明する。実習・研修を進めるための素材の1つとして、参加態度の評価に加味する。	

科目名	インターンシップ	
担当者	井上 隆 / ◎ 野上 真	
科目情報	キャリア形成科目 / 選択 / 前期 / 実習・演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	職業に関する基礎的知識を身につけ、職業観と進路イメージを明確に形成している。	
科目概要	授業内容	企業や官公庁で一週間程度の職場体験実習をする。これに先立ち、企画力やビジネスマナーを向上させるための演習や実習にも取り組む。
	到達目標	演習や実習を通し、基本的なビジネスマナーや企画力、積極性、主体性を身につけるとともに、将来の進路について明確な目標意識を持つ。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 受け入れ志望先へのエントリーシート作成 (1) (3) 受け入れ志望先へのエントリーシート作成 (2) (4) 受け入れ志望先へのエントリーシート作成 (3) (5) 企画力養成講座 (6) ビジネスマナー講習 (7) プロジェクト実習 (1) (8) プロジェクト実習 (2) (9) プロジェクト実習 (3) (10) プロジェクト実習 (4) (11) プロジェクト実習 (5) (12) 受け入れ先企業研究 (1) (13) 受け入れ先企業研究 (2) (14) 先輩体験談受講へ向けての準備 (15) 先輩体験談	
自学自習	事前学習	エントリーシート等提出物の作成については、演習時間内だけの作業では終わりません。事前に具体的な指示はしますので、自主的に進めること。
	事後学習	後期に実習レポートの提出と、報告会があります。
使用教材・参考文献	【教】 演習中に配布するプリントを用いる。 【参】 就職する前にしておきたい17のこと (本田健・だいわ文庫)	
成績評価方法と基準	<基準> 提出物(エントリーシート等)の作成および、実習への誠実な取り組みが認められたものを合格とする。 <方法> 読書課題10%、エントリーシート10%、受け入れ先研究10%、プロジェクト実習20%、現場実習50%	
備考	成績評価は後期の実習報告会終了後に出ます。読書レポートの内容を成績評価の対象とする。	